

2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場会社名 株式会社 商船三井

上場取引所 東

コード番号 9104 URL <http://www.mol.co.jp/ir-j/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 池田 潤一郎

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 綾井 健太郎 TEL 03-3587-6224

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日 2018年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	619,895	△24.3	14,761	32.4	10,277	△40.8	5,725	△56.4
2018年3月期第2四半期	818,901	14.8	11,146	—	17,347	215.5	13,123	△18.3

（注）包括利益 2019年3月期第2四半期 28,163百万円（481.4%） 2018年3月期第2四半期 4,844百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	47.88	46.24
2018年3月期第2四半期	109.72	101.33

（注）当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	2,262,672	653,536	23.6	4,471.18
2018年3月期	2,225,096	628,044	23.0	4,274.81

（参考）自己資本 2019年3月期第2四半期 534,716百万円 2018年3月期 511,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	1.00	—	10.00	—
2019年3月期	—	20.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2018年3月期の1株当たり期末配当金については、株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年3月期の1株当たり年間配当金は20円となります。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200,000	△27.4	30,000	32.3	22,000	△30.1	17,000	—	142.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）DAIBIRU HOLDINGS AUSTRALIA PTY LTD.、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	120,628,611株	2018年3月期	120,628,611株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,036,945株	2018年3月期	1,034,392株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	119,592,910株	2018年3月期2Q	119,604,346株

(注) 前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算短信補足説明資料は当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
3. 参考資料	13
(1) 四半期毎の業績推移	13
(2) 減価償却の状況	14
(3) 有利子負債残高	14
(4) 海運業船腹量	14
(5) 為替情報	14
(6) 船舶燃料油価格情報	14
(7) 海運市況	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	増減額/増減率
売上高 (億円)	8,189	6,198	△1,990 / △24.3%
営業損益 (億円)	111	147	36 / 32.4%
経常損益 (億円)	173	102	△70 / △40.8%
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (億円)	131	57	△73 / △56.4%
為替レート (6ヶ月平均)	¥110.82/US\$	¥109.47/US\$	△¥1.35/US\$
船舶燃料油価格 (6ヶ月平均) ※	US\$322/MT	US\$457/MT	US\$135/MT

※平均補油価格

当第2四半期連結累計期間の対ドル平均為替レートは、前年同期比¥1.35/US\$円高の¥109.47/US\$となりました。また、当第2四半期連結累計期間の船舶燃料油価格平均は、前年同期比US\$135/MT上昇しUS\$457/MTとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高6,198億円、営業損益147億円、経常損益102億円、親会社株主に帰属する四半期純損益は57億円となりました。

セグメント毎の売上高及びセグメント損益（経常損益）、それらの対前年同期比較及び概況は以下の通りです。

上段が売上高（億円）、下段がセグメント損益（経常損益）（億円）

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	増減額/増減率
ドライバルク船事業	1,335	1,426	90 / 6.8%
	79	87	7 / 9.6%
エネルギー輸送事業	1,323	1,397	74 / 5.6%
	49	80	30 / 60.6%
製品輸送事業	5,046	2,845	△2,201 / △43.6%
	2	△86	△89 / -%
	うち、コンテナ船事業	3,742	1,478
	△41	△100	△58 / -%
関連事業	589	642	53 / 9.0%
	67	61	△6 / △9.1%
その他	116	110	△6 / △5.2%
	12	11	△1 / △9.0%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(A) ドライバルク船事業

ケープサイズ市況は、ブラジル出しの鉄鉱石の出荷が復調し7月から8月にかけて2万4千ドル台/日まで上昇しましたが、その後、米中貿易摩擦問題に対する市場心理の悪化により市況は軟化し、9月は概ね1万7千ドル台/日の推移となりました。パナマックス市況も、一時的な市場心理の悪化はありましたが、石炭や南米出し穀物等の主要貨物の堅調な荷動きにより市況は緩やかに上昇し、9月中旬以降は1万3千ドル～1万4千ドル台/日で推移しました。このような市況環境の中、前年同期比では若干の増益となる黒字を計上しました。

(B) エネルギー輸送事業

<油送船>

原油船市況は、台風の影響や中国における滞船増加による突発的な高騰、並びに高齢船撤退による船腹需給の引き締まりが見られたものの、春先から夏場までの季節的要因による輸送需要の減少により、全体的に低調に推移しました。LPG船市況は、第1四半期は米国産LPG価格の上昇によってアジア域との価格差が縮小し、米国域での船腹需要が減少したため下落傾向に推移しましたが、第2四半期に入り当該価格差が再び拡大したことにより、米国域での船腹需要が増加し、回復基調に転じました。石油製品船市況は、全般的な船腹供給過剰の中、製油所の定期修繕、並びに原油価格の先行き不透明感による裁定取引の軟化等により、全体的に低調に推移しました。このような市況環境下において、長期契約の安定的な履行や確実な契約延長の実施に加え、プール運航による運航効率の向上やコスト削減にも継続して努めましたが、前年同期比で損益は悪化しました。

<LNG船・海洋事業>

LNG船部門は、既存の長期契約船に加え、欧州顧客向け新造船が新たに竣工したこともあり、業績は堅調に推移しました。海洋事業部門においても、6月に新規稼働した案件を含め既存プロジェクトが順調に稼働し、安定的に利益を計上しました。

(C) 製品輸送事業

<コンテナ船>

川崎汽船株式会社及び日本郵船株式会社とのコンテナ船事業統合会社（OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD.）の収支は、事業統合によるシナジー効果は期初想定を上回るスピードで現出しているものの、本年4月の営業開始直後に発生したサービス面での混乱による積高・消席率の落ち込みを、夏季貨物繁忙期にかけても回復しきれず、想定を下回って推移しました。また、復航（北米発アジア向け・欧州発アジア向け）における積高減に伴い、アジアへのコンテナ回送費用が増加したことも損益を圧迫し、当第2四半期累計期間においては損失を計上しました。

<自動車船>

一部航路における検疫問題、および西日本豪雨による出荷台数の一時的な減少の影響が出る中、トレードパターンの変化に対応した柔軟な配船・運航効率の改善の取り組みに継続して努めましたが、燃料費が増加したこともあり、前年同期比で損益は悪化しました。

<フェリー・内航RORO船>

フェリー・内航RORO船事業については、トラックドライバーの不足や高齢化、労務管理の強化を背景としたモデルシフトの流れにより前年度から引き続き堅調な荷動きとなっております。更に、カジュアルクルーズをコンセプトにした積極的なプロモーションを集客に繋げた結果、前年同期並みの収入を確保しましたが、台風や一部本船不具合による欠航の影響や、燃料費の増加などにより、前年同期比で減益となりました。

(D) 関連事業

客船事業は好調な集客が続いており、台風や地震の影響で複数の「につぼん丸」クルーズが催行中止を余儀なくされたにもかかわらず、前年同期比で若干の増益となりました。不動産事業においては、首都圏を中心に賃貸オフィスマーケットは堅調であったものの、大口テナントの入れ替わり等の影響で前年同期比では若干の減益となりました。その他曳船や商社等の業績は総じて堅調に推移しましたが、関連事業セグメント全体では前年同期比で減益となりました。

(E) その他

主にコストセンターであるその他の事業には、船舶運航業、船舶管理業、貸船業、金融業などがありますが、ほぼ前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ375億円増加し、2兆2,626億円となりました。これは主に投資有価証券が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ120億円増加し、1兆6,091億円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ254億円増加し、6,535億円となりました。これは主に繰延ヘッジ損益が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加し、23.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期)

	前回予想 (第1四半期決算発表時点)	今回予想 (第2四半期決算発表時点)	増減額/増減率
売上高 (億円)	11,400	12,000	600 / 5.3%
営業損益 (億円)	250	300	50 / 20.0%
経常損益 (億円)	400	220	△180 / △45.0%
親会社株主に帰属する 当期純損益 (億円)	300	170	△130 / △43.3%
為替レート	¥105.00/US\$	¥110.00/US\$	¥5.00/US\$
船舶燃料油価格※	US\$450/MT	US\$480/MT	US\$30/MT
	(下期前提)	(下期前提)	

※平均補油価格

第3四半期以降のドライバルク船市況は、米中貿易摩擦問題が市場心理に影響することが懸念されるものの、足元の荷動きは堅調であり、底堅く推移することを見込んでおります。原油船市況は、船腹供給面では老齢船の撤退が進む傍ら新造船の竣工も進むため、供給量は微増すると見込む一方、船腹需要面では、イラン原油に代わる西アフリカからの輸出量増加によるトンマイル向上や冬場の需要期により、上半期に比べて強含む局面が見られると想定しております。石油製品船市況は、足元では依然として船腹供給過剰の状態にありますが、例年と同様にヒーティングオイルの需要増という冬場特有の底堅い荷動きによる市況回復を見込んでおります。一方で、高止まりする燃料油価格については、引き続き懸念材料として考えております。コンテナ船については、コンテナ船事業統合会社(OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD.)の業務は既に安定稼働しており、サービス品質の更なる向上に取り組んでおります。積高・消席率は依然として回復途上であるものの、復航の積高強化と燃料消費量の削減をはじめとしたコスト削減を通じて、業績改善に取り組めます。

かかる見通しのもと、通期の連結業績につきましては、売上高1兆2,000億円、営業損益300億円、経常損益220億円、親会社株主に帰属する当期純損益170億円を予想しております。

当期(2019年3月期)の中間配当につきましては、2018年10月31日開催の取締役会において1株当たり20円と決定いたしました。期末配当につきましては、2018年7月31日に開示した予想時点では1株当たり30円を予定しておりましたが、上記の通り通期業績予想の変動に伴い、現時点では1株当たり20円を予定しております。なお、2018年7月31日に開示した予想数値から業績予想の変動の詳細につきましては、本日(2018年10月31日)開示の「2019年3月期通期業績予想の修正、及び期末配当予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	192,797	116,846
受取手形及び営業未収金	125,851	107,380
有価証券	500	500
たな卸資産	38,679	34,416
繰延及び前払費用	61,918	66,043
その他流動資産	59,357	90,588
貸倒引当金	△401	△371
流動資産合計	478,702	415,403
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	776,554	769,495
建物及び構築物(純額)	148,598	143,822
機械装置及び運搬具(純額)	31,581	29,367
器具及び備品(純額)	4,137	4,364
土地	221,045	220,687
建設仮勘定	106,128	107,189
その他有形固定資産(純額)	2,884	3,996
有形固定資産合計	1,290,929	1,278,923
無形固定資産		
投資その他の資産	30,163	28,862
投資有価証券	274,527	371,218
長期貸付金	73,403	68,065
長期前払費用	6,388	6,099
退職給付に係る資産	18,811	18,779
繰延税金資産	4,007	3,881
その他長期資産	50,583	73,815
貸倒引当金	△2,421	△2,377
投資その他の資産合計	425,300	539,482
固定資産合計	1,746,393	1,847,268
資産合計	2,225,096	2,262,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	131,405	86,605
短期社債	31,872	28,500
短期借入金	180,539	256,891
コマーシャル・ペーパー	5,000	48,000
未払法人税等	6,395	5,337
前受金	34,409	33,922
賞与引当金	4,567	3,894
その他流動負債	83,506	68,531
流動負債合計	477,696	531,684
固定負債		
社債	175,748	158,714
長期借入金	706,944	698,080
リース債務	15,977	15,071
繰延税金負債	55,276	61,011
退職給付に係る負債	12,909	12,565
役員退職慰労引当金	1,487	1,334
特別修繕引当金	20,647	20,565
その他固定負債	130,364	110,108
固定負債合計	1,119,354	1,077,451
負債合計	1,597,051	1,609,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,400	65,400
資本剰余金	45,385	45,385
利益剰余金	306,642	311,162
自己株式	△6,807	△6,804
株主資本合計	410,620	415,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,400	40,471
繰延ヘッジ損益	37,873	54,280
為替換算調整勘定	23,442	19,056
退職給付に係る調整累計額	5,905	5,764
その他の包括利益累計額合計	100,621	119,572
新株予約権	2,026	1,812
非支配株主持分	114,776	117,007
純資産合計	628,044	653,536
負債純資産合計	2,225,096	2,262,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	818,901	619,895
売上原価	750,331	552,007
売上総利益	68,570	67,888
販売費及び一般管理費	57,423	53,127
営業利益	11,146	14,761
営業外収益		
受取利息	3,797	3,977
受取配当金	3,020	2,900
為替差益	8,487	6,367
その他営業外収益	2,138	1,383
営業外収益合計	17,444	14,627
営業外費用		
支払利息	9,931	11,024
持分法による投資損失	281	7,241
その他営業外費用	1,031	846
営業外費用合計	11,244	19,112
経常利益	17,347	10,277
特別利益		
固定資産売却益	3,013	2,206
その他特別利益	1,890	1,688
特別利益合計	4,903	3,895
特別損失		
固定資産売却損	840	68
その他特別損失	975	1,702
特別損失合計	1,815	1,771
税金等調整前四半期純利益	20,434	12,401
法人税等	4,613	4,544
四半期純利益	15,821	7,856
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,698	2,131
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,123	5,725

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	15,821	7,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,709	7,953
繰延ヘッジ損益	△6,294	9,179
為替換算調整勘定	△7,295	△9,750
退職給付に係る調整額	508	△142
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,604	13,066
その他の包括利益合計	△10,977	20,307
四半期包括利益	4,844	28,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,087	24,677
非支配株主に係る四半期包括利益	2,756	3,486

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,434	12,401
減価償却費	42,116	43,716
持分法による投資損益(△は益)	281	7,241
引当金の増減額(△は減少)	807	△10,306
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	126	△156
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	124	△274
受取利息及び受取配当金	△6,818	△6,877
支払利息	9,931	11,024
固定資産除売却損益(△は益)	△2,153	△1,947
為替差損益(△は益)	△10,066	△11,564
売上債権の増減額(△は増加)	△21,113	17,427
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,043	4,176
仕入債務の増減額(△は減少)	27,740	△43,952
その他	△4,254	△23,989
小計	59,200	△3,079
利息及び配当金の受取額	9,176	8,468
利息の支払額	△9,956	△10,781
法人税等の支払額	△6,874	△5,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,547	△10,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	1,001	△7,298
投資有価証券の取得による支出	△16,646	△91,108
投資有価証券の売却及び償還による収入	936	6,448
固定資産の取得による支出	△67,332	△64,277
固定資産の売却による収入	46,387	22,960
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△27	△125
長期貸付けによる支出	△17,407	△17,013
長期貸付金の回収による収入	1,586	985
その他	314	△10,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,189	△159,972

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,807	73,087
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	43,000
長期借入れによる収入	30,529	37,083
長期借入金の返済による支出	△62,317	△45,265
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△20,000	△31,734
配当金の支払額	△11	△1,204
非支配株主への配当金の支払額	△814	△1,318
その他	△858	△728
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,665	82,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	167	4,765
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△46,139	△83,118
現金及び現金同等物の期首残高	186,844	189,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	140,704	106,473

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ドライバルク 船事業	エネルギー 輸送事業	製品輸送事業		関連事業	計				
			コンテナ 船事業	自動車船・ フェリー・ 内航RORO船 事業						
売上高										
外部顧客への 売上高	133,579	128,102	373,276	130,366	45,244	810,570	8,331	818,901	—	818,901
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2	4,237	927	110	13,685	18,963	3,309	22,273	△22,273	—
計	133,582	132,339	374,204	130,476	58,930	829,533	11,641	841,174	△22,273	818,901
セグメント利益 又は損失(△)	7,976	4,987	△4,143	4,426	6,713	19,961	1,250	21,211	△3,864	17,347

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、船舶運航業、船舶管理業、貸船業、金融業及び造船業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,864百万円には、セグメントに配分していない全社損益△5,984百万円、管理会計調整額3,037百万円及びセグメント間取引消去△917百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ドライバルク 船事業	エネルギー 輸送事業	製品輸送事業		関連事業	計				
			コンテナ 船事業	自動車船・ フェリー・ 内航RORO船 事業						
売上高										
外部顧客への 売上高	142,632	135,524	146,994	136,631	50,223	612,006	7,889	619,895	—	619,895
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	4,230	809	104	14,036	19,181	3,144	22,326	△22,326	—
計	142,632	139,755	147,804	136,735	64,259	631,188	11,033	642,222	△22,326	619,895
セグメント利益 又は損失(△)	8,746	8,010	△10,014	1,380	6,104	14,227	1,137	15,365	△5,088	10,277

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、船舶運航業、船舶管理業、貸船業及び金融業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,088百万円には、セグメントに配分していない全社損益△8,203百万円、管理会計調整額3,178百万円及びセグメント間取引消去△63百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 参考資料

(1) 四半期毎の業績推移

<2019年3月期>

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	2018年4月～6月	7月～9月	10月～12月	2019年1月～3月
売上高 [百万円]	304,434	315,461		
営業利益又は営業損失(△)	3,691	11,070		
経常利益又は経常損失(△)	251	10,026		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,510	10,891		
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 1,682	7,407		
1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)* [円]	△ 14.07	61.95		
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益*	-	59.84		
総資産 [百万円]	2,206,323	2,262,672		
純資産	619,337	653,536		

*親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失

<2018年3月期>

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	2017年4月～6月	7月～9月	10月～12月	2018年1月～3月
売上高 [百万円]	403,284	415,617	420,760	412,732
営業利益又は営業損失(△)	1,147	9,999	13,218	△ 1,680
経常利益又は経常損失(△)	5,885	11,462	17,217	△ 3,091
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,150	11,284	20,507	△ 69,650
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	5,251	7,872	16,106	△ 76,609
1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)* [円]	43.91	65.81	134.68	△ 640.56
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益*	40.55	60.78	124.37	-
総資産 [百万円]	2,198,561	2,188,391	2,251,848	2,225,096
純資産	679,362	687,223	714,061	628,044

*親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 減価償却の状況

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	増	減	前年度
船 舶	31,579	32,640		1,060	64,536
そ の 他	10,537	11,076		539	22,093
減価償却費合計	42,116	43,716		1,599	86,629

(3) 有利子負債残高

	前年度末	当第2四半期末	増	減	前第2四半期末
借入金	887,484	954,972		67,487	837,151
社債	207,620	187,214	△	20,406	210,865
コマーシャル ・ペーパー	5,000	48,000		43,000	-
そ の 他	17,985	16,776	△	1,208	19,517
有利子負債残高合計	1,118,089	1,206,963		88,873	1,067,534

(4) 海運業船腹量 (当社及び連結子会社)

(隻数及び重量トン)

	ドライバルク船		油 送 船		L N G 船		自 動 車 船		コ ン テ ナ 船	
	隻	千MT	隻	千MT	隻	千MT	隻	千MT	隻	千MT
保 有 船 腹	57	5,499	77	9,997	29	2,301	50	842	14	1,106
備 船	287	25,455	78	3,526	7	429	69	1,191	58	5,174
運 航 受 託 船	-	-	7	328	2	143	-	-	-	-
当第2四半期末	344	30,954	162	13,850	38	2,873	119	2,032	72	6,280
前年度末	337	30,420	163	14,273	38	2,873	119	2,004	91	7,474

	フェリー・ 内航RORO船		客 船		そ の 他 *		海運業船腹量 計	
	隻	千MT	隻	千MT	隻	千MT	隻	千MT
保 有 船 腹	12	66	1	5	7	39	247	19,854
備 船	3	19	-	-	25	75	527	35,868
運 航 受 託 船	-	-	-	-	1	1	10	472
当第2四半期末	15	84	1	5	33	114	784	56,194
前年度末	14	79	1	5	32	109	795	57,235

*内航船(内航RORO船以外)を含む

(5) 為替情報

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	増 減			前年度
平均社定レート	110.82円	109.47円	1.35円	(1.2%)	円高	111.08円
期末レート	112.73円	113.57円	0.84円	(0.7%)	円安	106.24円

<海外会社>

	2017年6月末	2018年6月末	増 減			2017年12月末
期末レート	112.00円	110.54円	1.46円	(1.3%)	円高	113.00円

(注) 平均社定レートは、当該期各月社定レートの平均。期末レートは、当該期末日のTTMレート。

(6) 船舶燃料油価格情報

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	増 減
平均補油単価	US\$322/MT	US\$457/MT	US\$135/MT

(7) 海運市況

① ドライバルク船市況 (Baltic Dry Index)

(1985年1月=1,000)

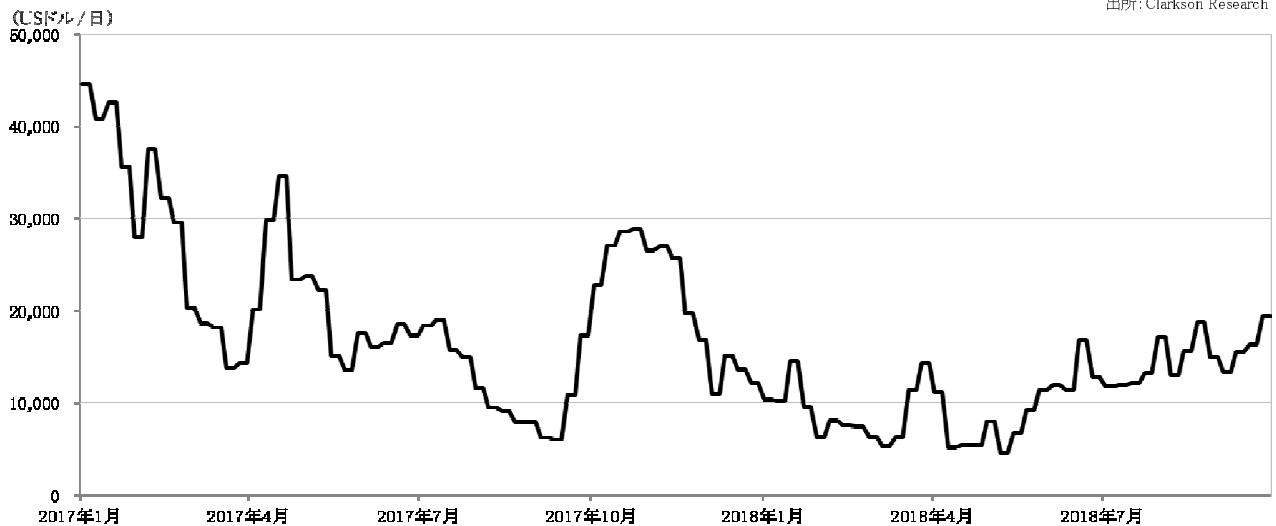
出所: Bloomberg



各月平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間平均
2017年	907	759	1,141	1,222	973	860	906	1,142	1,364	1,484	1,454	1,619	1,153
2018年	1,242	1,125	1,154	1,129	1,293	1,352	1,650	1,710	1,447				1,345

② 油送船市況 (Daily Earnings) : VLCC 中東-日本航路

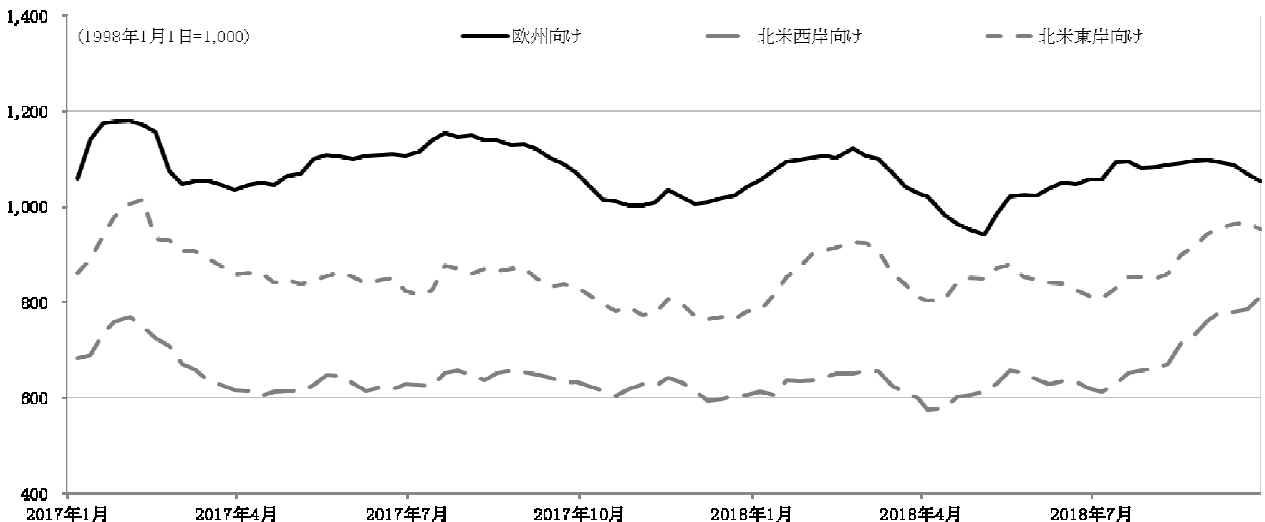
出所: Clarkson Research



各月平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間平均
2017年	40,905	31,822	17,051	26,966	18,646	17,212	17,002	9,510	9,673	26,812	24,727	13,743	21,172
2018年	11,148	7,357	8,739	6,800	7,116	12,896	12,282	15,869	16,183				10,932

③ コンテナ船市況 (China Containerized Freight Index)

出所: 上海航運交易所



(註)CCFIは中国出しコンテナのみを対象とした運賃指数であり、アジア出し全体の運賃動向と必ずしも一致するものではありません。